

高木さん(唐津市出身)最優秀監督賞

マレーシア映画祭 小学生の作文題材

唐津市出身の映画監督、高木裕己さん(72)＝東京都在住＝が、マレーシアで開かれた「ダイヤモンドスター・ペナン国際映画祭」で最優秀映画監督賞を受賞した。小学生の作文を脚色した教育映画「やさしく」の意味くおばあちゃんは認知症だった」の監督として、認知症の実態や安心して暮らすための工夫などを自然に理解できる劇映画に仕立てた手腕が高く評価された。



最優秀監督賞を受賞した高木裕己監督。現地では監督のメッセージが紹介された「マレーシア・ペナン島」

「やさしく」は、以上の5人に1人が認知症を患っている日本の現小中学生の作文コンテストで最優秀賞に選ばれた小学4年生(当時)の三輪実由さんの作文をベースにした。同じことを何度も尋ねる101歳の曾祖母にいらだちを募らせていた主人公が、

接し方を変えながら根気強く認知症への理解を深めていく姿を描いている。ペナン国際映画祭は、

「やさしく」は2019年に日本の教育映像祭で優秀作品賞(社会教育)に選ばれたのを始め、ブータンやインド、アメリカなどの映画祭でも賞を受けている。『東洋の真珠』と呼ばれるマレーシア・ペナン島を舞台に開かれる映画祭。コロナ禍のため表彰式への出席はかなわなかったが、高木監督は65歳

(古賀史生)